

脱炭素化をサポートする「支援機関」

支援機関とは、事業者の工場・事業場の脱炭素化を技術面からサポートする専門機関



脱炭素化を全面的に支援

CO2削減に向けた診断から削減対策の計画策定、対策実行までを全面的に支援



プロフェッショナル人財が所属

豊富な支援経験があり、「総合的な診断が可能」等一定以上のスキルを持つ人財「支援責任者」が所属



国事業（SHIFT事業）に登録

毎年申請及び審査を受け、要件を満たす機関のみを登録
令和7年度登録数：84機関

事業者が抱える脱炭素化を進める際の悩みを支援機関が解決

悩み



- 脱炭素化の取組（現状把握、対策計画の立案、等）を実施するための人手が足りない
- CO2排出量の算定方法がわからない
- 何を、どのように実施すれば良いかわからない（自社で実施可能な具体的な対策を知りたい） 等

	知る	測る	減らす
脱炭素化のステップ	- 情報の収集 - 方針の検討	- CO2排出量の算定 - 削減ターゲットの特定	- 削減計画の策定 - 削減対策の実行
支援例	- 世の中の潮流等、外部情報の提供 - 取組状況等、自社の現状の整理 等	- 主要設備のエネルギー使用量の計測 - CO2排出量の算定等、排出源の整理 等	- 対策立案・実行支援（対策6類型※） - 対策効果分析、取組レベルアップ支援 等

※ 対策6類型：①運用改善、②部分更新・機能付加、③設備導入、④燃料低炭素化、⑤電力低炭素化、⑥電化

事業者と支援機関とのマッチングサポートを実施

※ 詳細は環境省HPへ <https://www.eccj.or.jp/shift/matching/>

